

令和7年度（2025年度）交付
市民企画事業補助金
成果報告書



八王子市

令和8年（2026年）7月

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

目 次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧	3
4	事業成果報告（成果報告書・収支決算書）	
(1)	PC・スマホ 利活用支援事業	5
(2)	つながるひろば	9
(3)	Hello baby～いまどきパパママクラス～	13
(4)	はちおうじ会議開催事業	17
(5)	見えない世界 出張教室	21
(6)	地域の健康支援活動（健康支援配食サービス、簡単料理教室、健康測定会）	25
(7)	Neuro-DiverCity 八王子へ向けて：多様な学びを支える地域ネットワークの構築－2年目の挑戦－	29
(8)	八王子保活カフェ（先輩パパ・ママによる保育園探し&復職準備の情報提供）&子育てのWA（親子イベント）	33
(9)	生きるための「栄養学」と「エンディングノート作成」講座	37
(10)	パラコレクション八王子	41
(11)	かぶかぶ山のようちえん「八王子くわっば」～0歳からみんなで外遊び・自然遊びしようの会～	45
5	交付団体連絡先一覧	49

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する公益的な事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の3部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、C事業連携部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業連携部門
内 容	既に公益的な活動に取り組んでいるが、活動基盤が整っていない団体が実施する事業で、今後自立した活動として発展が期待できる団体の事業に要する経費を補助します。	活動基盤が一定程度整っている市民活動団体が、自立運営を目標に企画提案する事業や、さらなる事業の発展を見込むことができる事業の経費の一部を補助します。	既に主たる事業で自立運営をしている市民活動団体が、他の団体（活動分野が異なる団体）と協力・連携することで、さらなる事業の発展を見込むことができる事業の経費の一部を補助します。
補助金額 (1回目)	補助対象事業費の10分の10 (千円未満切り捨て上限10万円)	補助対象事業費の2分の1以内 (千円未満切り捨て上限50万円)	補助対象事業費の3分の2以内 (千円未満切り捨て上限50万円)
補助金額 (2回目)	補助対象事業費の5分の4以内 (千円未満切り捨て上限10万円)	補助対象事業費の3分の1以内 (千円未満切り捨て上限50万円)	—
計画段階 の事業費	5万円以上	10万円以上	
補助回数	同一団体の事業に対して 2回まで	同一事業に対して2回まで	同一事業に対して1回まで

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課及び事務局による書類審査を行う予備評価及び外部委員で構成される「市民企画事業補助金申請事業評価会議」による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション」や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

評価項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業連携部門
担当課による 評価	1. 公益性 2. 実行性 3. 期待度	1. 公益性 2. 政策合致性 3. 八王子への貢献度 4. 計画性 5. 継続性自立性	1. 公益性 2. 政策合致性 3. 八王子への貢献度 4. 計画性 5. 発展性継続性
評価会議 による評価	1. 公益性 2. 実行性 3. 期待度 4. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. 継続性自立性 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. 継続性自立性 4. 発展性 5. 補助金交付の必要性

※ この概要は令和7年度（2025年度）交付対象事業についてのものです。最新情報については、市のホームページをご覧ください。

＜市民企画事業補助金のホームページアドレス＞

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>



補助金の概要

2 事業成果報告等の経過

＜1＞ 公開プレゼンテーション

- 日 時 令和7年（2025年）4月5日（土） 12:00～16:45
- 場 所 生涯学習センター（クリエイトホール）11階 視聴覚室
- 参加団体 16団体
A部門：応募12団体うち採択8団体
B部門：応募4団体うち採択3団体
C部門：応募なし
- 審査の一環として、A活動支援部門及びB事業実施部門に応募した全ての団体が、評価会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



＜2＞ 成果報告会

- 日 時 令和8年（2026年）6月28日（日） 13:00～16:00
- 場 所 生涯学習センター（クリエイトホール）11階 視聴覚室
- 参加団体 11団体
- 令和7年度（2025年度）に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 交付事業一覧

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額	補助金確定額
A 活動 支援 部門	新	PC・スマホ 利活用支援事業	128,745	100,000	100,000
	新	つながるひろば	127,173	100,000	100,000
	新	Hello baby～いまどきパパママクラス～	143,557	100,000	100,000
	新	はちおうじ会議開催事業	124,394	100,000	100,000
	新	見えない世界 出張教室	102,762	100,000	100,000
	②	地域の健康支援活動（健康支援配食サービス、簡単料理教室、健康測定会）	153,294	95,000	95,000
	②	Neuro-DiverCity八王子へ向けて：多様な学びを支える地域ネットワークの構築ー2年目の挑戦ー	239,386	100,000	100,000
	②	八王子保活カフェ（先輩パパ・ママによる保育園探し&復職準備の情報提供）&子育てのWA（親子イベント）	86,307	96,000	69,000
	小計		1,105,618	791,000	764,000
B 事業 実施 部門	新	生きるための「栄養学」と「エンディングノート作成」講座	275,470	124,000	124,000
	新	パラコレクション八王子	2,496,492	500,000	500,000
	②	かぶかぶ山のようちえん「八王子くわっば」～0歳からみんなで外遊び・自然遊びしようの会～	71,185	57,000	23,000
	小計		2,843,147	681,000	647,000
総計			3,948,765	1,472,000	1,411,000

4 事業成果報告

(成果報告書・収支決算書)

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名		PC・スマホ 利活用支援事業			
団体名		デジタルお助け侍(サムライ)			
総事業費		138,504 円	補助対象 事業費	128,745 円	補助金額 100,000 円
事業の目的・内容	事業の目的	スマートフォン、パソコンの利活用に困難を抱える人を対象に、標準的なデジタルリテラシー獲得のサポートを提供することを目的とする。 市民のデジタルリテラシー向上を通して、地域活動の基盤となるコミュニケーションがオンラインでも活性化すること、行政のデジタルサービスの普及率が向上し効率化すること、学生サポーターを募集して協働することによる世代間交流の実現すること、が効果として期待される。			
	事業の内容	八王子市内でのスマートフォン、パソコン操作、活用の相談会、セミナーを実施する。 令和7年度は、令和8年度以降の本格展開を目指し、相談会、セミナーの提供サービスとしての定型化を見据え、本会会員が対応可能な範囲での実施とする。 一方で、ボランティアセンター等を通して、自治会・町会の集会、イベント等の紹介を受け、市内各地での展開の可能性を模索する。			
事業の活動実績	1. PC・スマホ個別相談会 ①「めじろ台テラス」で主催実施(4回) 【実施日】7/19(土)・20(日)、12/7(日)、2/15(日) 【スタッフ人数計】12名 【相談者数計】74名 ②「館ヶ丘自治会」からの依頼実施(5回) 【実施日】10/25(土)、12/14(日)、1/25(日)、2/22(日)、3/22(日) 【スタッフ人数計】5名 【相談者数計】36名 ③「丸山町滝山台自治会」からの依頼実施(2回) 【実施日】10/26(日)、12/20(日) 【スタッフ人数計】4名 【相談者数計】26名 ④「石川友誠クラブ」からの依頼実施 【実施日】2/21(土) 【スタッフ人数計】4名 【相談者数計】10名 ⑤「いちょう祭りわくわく広場」で主催(2回) ※飲食販売ブースに併設 【実施日】11/15(土)・16(日) 【スタッフ人数計】7名 【相談者計】3名 2. 「生成AI」講座 「めじろ台安心ねっと」さんから依頼実施 【実施日】3/1(日) 【スタッフ人数計】4名 【受講者計】33名 3. 「FANeyes」さんからの依頼で、『福祉防災訓練』でのスマホアプリサポートスタッフとして参加 【参加日】11/22(土) 【スタッフ人数計】4名 4. 「らくだの夢グループ」さんからの依頼で、スマホアプリサポートスタッフとして参加 【参加日】11/4(火) 【スタッフ人数計】3名 5. 視覚障がい者個人の方へのスマホサポート 【実施日】1/19(月) 【スタッフ人数計】2名				

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	1. PC・スマホ個別相談会 こちらのイベントは本会メイン事業と位置付けている。年度通じて「5会場」「14回(日)」「合計149名」の個別相談を実施できた。 主な相談内容は、おおよそ以下の通りだった。 ①「ログイン・アカウント管理」のトラブル 具体例: Googleアカウント、Apple IDのログイン不可、パスワード失念。 ②「LINE」の操作・設定 具体例: 友達追加の仕方がわからない、トーク履歴のバックアップ、機種変更時の引き継ぎ。 ③「セキュリティ不安と迷惑メール」 具体例: 偽の警告画面(フィッシング詐欺)が出て消えない、不審なメール、アプリの処理。 ④「スマホのメンテナンス・基本操作」 具体例: 動作が重い、写真の整理、文字入力の方の改善、通知を静かにしたい。 ⑤「公的サービス・予約」のデジタル活用 具体例: マイナポータルの使い方、病院のネット予約、「東京都アプリ」「桑都ペイ」設定。 2. 「生成AI」講座 こちらのイベントは、「めじろ台安心ねっと」からの依頼により、約2時間枠で実施したが、「33名」の参加があり、ワークショップも含めて実践的なセミナーとすることができた。 (参加者アンケートの結果) ①全体の満足度: 96%がポジティブな評価 講座全体を通して、「とても良かった」が過半数を占め、ネガティブ評価はゼロだった。 ②専門用語避けた解説で、「分かりやすかった」以上の評価が100% ③高い「楽しさ」の中に潜む個別フォローの必要性 9割の参加者には「楽しい」体験となったものの、一部の参加者(8%)からは「少し難しかった」との率直な声も。 ④今後のセミナーの内容に対するニーズ 「インターネット詐欺対策」「LINEの使い方」「スマホの基本」「地図・バスの調べ方」など具体的な意見があった。						
自己評価	事業は申請どおり実施できた	☒ できた ☐ おおむねできた ☐ あまりできなかった ☐ ほとんどできなかった 主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	☒ できた ☐ おおむねできた ☐ あまりできなかった ☐ ほとんどできなかった 主な理由 以下の通り、相談会等の各イベントでの合計参加数が目標の3倍以上の実績を上げることができた。また、185件の相談のうち、各人に回答してもらったアンケートによると、解決に至らなかった事例は7件のみ。課題解決率は96%となった。それも、こちらのスキル不足によるものではなく、相談者所持の端末の性能によるものであった。当初想定より多くの団体、個人からサポート依頼をいただくことができた。 世代間交流として期待した、現役大学生サポーターは、創価大のゼミや法政大のサークルへの接触を図ったが、芳しい返事が得られず、本会員人脈での学生サポーターの参加にとどまった。ただ、参加の学生サポーター、相談者の双方より、普段話せない世代と交流できたとの満足の声があった。 学生サポーターはデジタルネイティブで、相談対応の知識・スキルを持っている。一方、スマホ相談は、単に質問に答えるだけでなく、対話を通じて質問者の意図などのヒアリングが必要な場面がある。 学園都市・八王子に在住の大学生と、地域の高齢者との交流の場を増やせば、地域の活性化につながるかと考えているので、今年度はわずかな交流に終わったが、次年度も世代間交流は本会の課題として、今後も様々な角度で学生の参加に挑戦していきたい。					
		効果を表す指標	累積参加数・参加者課題解決率	本年度目標値	50件・90%	本年度実績値	185件・96%
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	☐ おおむね同じ ☒ 多少の変更があった ☐ 大幅に変更した 変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ) 通信費は当初月契約の予定だったところ、買切SIMに切り替え、通信費を削減した。また、生成AIを駆使し、デザイン委託料を無くした。その分、屋外イベント用の備品として折りたたみテーブルを購入することにした。 また、相談会時の茶菓の提供は不要と判断した。学生サポーターの募集が想定通りにはいかず、予定の予算執行とはならなかった。					
	その他、評価すべき点等	「館ヶ丘自治会」「丸山町シニアサロン」「石川友誠クラブ」等、複数の団体から継続的な相談会の開催を希望されるようになった。 「めじろ台安心ねっと」からの依頼で、セミナー形式の「生成AI講座」を実施した。参加者の満足度が高く、大変好評であった。 また、八王子市内で市民活動の実績を持つ団体(「NPO法人おさふく」「どんぐりの会」等)からも、令和8年度の事業の中でコラボレーションを持ちかけられるようになった。					
今後の事業展開	上記の通り、地域に飛び込んで、そこで個別相談を受ける相談会スタイルは大変好評だったと言える。このような出張型での個別相談会は、今後も本会の基幹活動として位置付けていきたい。 また、「生成AI講座」を中心に、会員のスキルから提供可能なセミナーも積極的に開催していきたい。個別相談とセミナーのハイブリッドで実施していくことにより、サポート範囲、人数も増やし、満足度も上げていきたい。 さらに、集客力のある団体とのコラボレーション企画は、今後さらに多くの市民にリーチしていける可能性が上がるため、お互いのWin-Winの関係作りを意識し、相互に発展できるようにしていきたい。						

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	PC・スマホ 利活用支援事業
団体名	デジタルお助け侍(サムライ)

【収入の部】

項 目	内 容・内 訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入	会費 7名×2,000円、事業収益28,000円
	その他助成金収入	0
	団体運営費への繰入金	-19,784
	寄付	16,288
	自己資金の合計額(A)	38,504
八王子市	市民企画事業補助金	100,000
	補助金・助成金合計額(B)	100,000
合計額(C)=(A+B)		138,504

【支出の部】

項 目	内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費	クリップボード(1,553円)、 ネームホルダー(950円)	一式
	印刷製本費	イベントチラシ印刷、団体紹介チラシ	イベント3回、1式
	謝礼・報酬	学生サポーター謝礼	2回計7時間: 1,000円/時間
	会場等使用料	めじろ台テラス	3回計17時間 500円/時間
	交通費	イベント開催地への往復運賃	イベント18回のべ75人参加
	通信費	モバイルルーター(4,480円) プリペイドSIM(4,392円×2) +4,880円	1式(20GB×3)
	備品購入費	テーブルタップ(4,380円)、 募金箱(2,477円)、のぼり (8,206円)、おりたたみテーブル (15,356円)	1式
	イベント参加費	地域デビューパーティ	1式
	対象経費の合計(D)		128,745
対象とならない経費	ホームページ運用費	サーバー代金	12か月分
	ドメイン維持費	ドメイン維持費	同上
	イベント参加費	NPOパワーアップ講座	
	対象とならない経費の合計(E)		9,759
合計額(F)=(D+E)			138,504

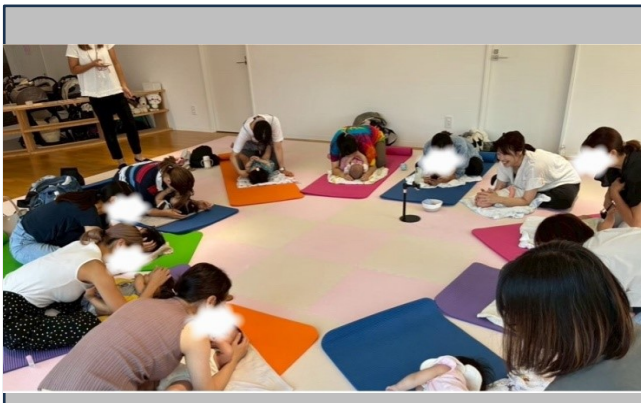
令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	つながるひろば				
団体名	つながるひろば				
総事業費	131,691 円	補助対象事業費	127,173 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	0歳児親子の孤立を防ぎ、育児の不安を軽減できるよう、気軽に参加し、緩やかな関係を築ける場を作る。小さな悩みを気軽に話したり、赤ちゃんとの遊び方やふれあい方を具体的に体験したり、教えてもらったりすることができる。 行政の子育て支援情報を届けることにも取り組み、チラシ配布や産後ケアミニ説明会等の機会を持てるよう働きかける。 市が掲げる「子育てしやすいまちナンバーワン」の実現、および「ビジョンすくすくはちおうじ」の達成に寄与することを目指し、地域の力を最大限に発揮し、育児環境をさらに充実させる。
	事業の内容	0歳児親子が集まり、交流を深める場「つながるひろば」の月1回の開催。 育児に関する情報交換やふれあい遊び、ストレッチ、ミニ講座などを通して親子のふれあいを楽しむとともに、親同士が自然につながれる場を提供する。

事業の活動実績	つながるひろばの開催：毎月第3水曜日 10:00オープン10:30-プログラム11:30クローズ(計12回) 会場：西八王子南口レンタルスペース「スマイルひろば」および台町市民センター 参加者数：令和7年4月～令和8年3月のべ102組 (予定数10組×12ヶ月＝120組 達成率85%)(リピート率:46組/102組＝54.9%)/ボランティア4名×12回 提供プログラム：ベビーヨガを中心に、9月よりベビーマッサージも隔月で提供。 通常つながるひろばに加え、12月にイベント「つながるひろばアフタートークの会」を実施(変更届提出済み) 台町市民センターにて 0-2歳児親子25組が参加(これにより、のべ参加者数は127組となった) その日の様子はJ:COMにて取材を受けた。 市の子育て支援情報の提供やミニ説明会の開催を模索。 交付の条件として代表が個人で行なっている事業との切り分けを明確にすること、とのご指導があったため、 ・会計は独立した会計として運営 ・集客に関しても、つながるひろば専用公式LINEやメールシステム等を使用し、個人とは別で運用 ・代表に加え、会員ボランティアに関しても、個人活動のPR等は一切行わないことを徹底した。
---------	--

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	つながるひろばでは、プログラム冒頭の自己紹介では毎回トピックを立てたことにより、母親同士が親しみを感じする姿があった。また、お出かけスポットや飛行機での帰省などについて情報交換する姿があった。 プログラム前後にゆったりとした時間をとったことで、ボランティアとおしゃべりしたり、離乳食や赤ちゃんの発達について自然な会話の中で相談を受けることもあった。 そのゆったりとした時間をもっと楽しむために、12月には追加で「つながるひろばアフタートークの会」を開催。25組の参加者のうち、このイベント初参加の親子もいて、1歳を過ぎてもこのように参加できる場があるのはありがたいとの声もいただいた。 継続的に参加する方と、新規に参加する方のバランスも取れるようになり、アンケート自由記述には、「子どもにも良い刺激になっているように感じる」「月齢の近い子との関わりや他のママとのつながりができてよかった」「月1回定期的にあることで私自身落ち着く時間になりリフレッシュできた」との声もあり、こういった声がボランティアの何よりのやりがいへとつながった。 一方、「予約がすぐに埋まってしまう」という声もあった。年度の前半は余裕のある状態だったが、後半に連れて参加希望者が多くなった。キャンセルも見込んで毎月30%程度は多めに予約を取っていたが、それでも予約開始日（毎月1日）に予約がいっぱいになってしまう月が多くなった。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	できた	☐ おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた（応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	☐ できた おおむねできた あまりできなかった ほとんどできなかった			
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	おおむね同じ		☐ 多少の変更があった	大幅に変更した
	その他、評価すべき点等	主な理由（あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ） 子育て支援情報の提供や産後ケアミニ説明会等については、方法を模索したものの、出前講座の内容に入っていないということで開催することが叶わなかった。			
		効果を表す指標	イベントの参加組数 アンケートの満足度	本年度目標値	のべ120組 「満足」90%以上 本年度実績値 のべ127組 「とても満足」・「満足」合計100%

今後の事業展開	令和7年度は安定運営に向け、補助金を利用して会場費やボランティア謝礼（交通費含む）を賄うことができ、感謝しています。事業規模が明確になったことから、令和8年度には、通常のつながるひろばにも1回500円の参加費を設定することとしました。 また、会場には市民センターを使用し、収支に無理が出ないようにしていきます。 ボランティアメンバーも着実に継続をしているため、運営体制には不安なく続けることができています。 無理して拡大することなく、現在の月1回1拠点＋年間1、2回の小中イベントの規模を継続していくこととし、令和8年度は補助金に頼らず自走していきます。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	つながるひろば
団体名	つながるひろば

【収入の部】			
項 目		内 容・内 訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入	アフタートークの会参加費1000円×25組	25,000
	その他助成金収入		0
	団体運営費からの繰入金		6,691
	自己資金の合計額(A)		31,691
八王子市	市民企画事業補助金		100,000
	補助金・助成金合計額(B)		100,000
合計額(C) = (A+B)			131,691

【支出の部】				
項 目		内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費	掃除用具、養生テープ、オイル小分けボトル		1,757
	謝礼・報酬	ボランティア謝礼(交通費込み)	1000円×のべ57名	57,000
	会場等使用料	レンタルスペーススマイルひろば・台町市民センター	スマイルひろば11回 台町市民センター2回	41,070
	委託料	チラシデザイン+印刷(プリントパック1000枚)		27,346
	対象経費の合計(D)			127,173
対象とならない経費	イベント味噌汁材料	豚肉、味噌、にんじん、牛蒡、玉ねぎ、出汁パック		4,518
		対象とならない経費の合計(E)		
合計額(F) = (D+E)				131,691

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	Hello baby～いまどきパパママクラス～				
団体名	一般社団法人みんなの居場所づくり隊縁楽結				
総事業費	159,157 円	補助対象 事業費	143,557 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	事業目的: 溢れるSNS情報に惑わされることなく、お子さんをしっかり見つめ自分たちにあった育児方法を見つけていくために、専門職からエビデンスに基づいた知識を得ること。 現在の妊娠・出産世代は、情報のソースをSNSに置いている。自治体が行うパパママクラスを受けたとしてもオーソドックスな内容で、SNSからの情報の判断基準にはなりえない。 妊娠中から今の世代に合った正しい知識と情報を知ってもらうことにより、情報の取捨選択ができるようになり、SNS情報に惑わされることなく目の前の赤ちゃんに向き合いながら自分たちの家庭にあった育児方法を見つけていく一助となり、産後うつ予防にもなる。
	事業の内容	講座形式は、対面講座と実技の指導。講師は、専門職に依頼し、妊婦さんや母親が悩みに焦点を当てた内容とする。 ①安産に向けての身体づくり・出産の話を聞いてみよう: 妊娠経過に合わせた骨盤健診の必要性、出産の話聞く。 ②やってみよう! 赤ちゃんのお世話体験～心地よい抱っこや家族の身体を守る育児技術の習得を目的とする。 ③知っておこう! 赤ちゃんの生活リズムの整え方～月齢に伴って変化していく赤ちゃんの生活パターンから自分たちの生活を想像する。 ④とても大切! 予防接種&緊急時の対処方法～産後2か月から始まる予防接種についての必要性和緊急時の対応方法や赤ちゃんの病気について学ぶ。

事業の活動実績	1 安産に向けての身体づくり ①令和7年6月15日(日)会場: ほっこりハウス 参加者: 妊婦3名 ②令和7年10月5日(日)会場: 由井市民センター 参加者: 妊婦1名 講師: 助産師 概要: 妊娠中に変化しやすい姿勢を改善し、身体づくりのポイントを伝えセルフケアができるようにする 2 赤ちゃんの生活リズムの整え方 ①令和7年7月20日(日)会場: 由井市民センターみなみ野分館 参加者: 妊婦1名夫1名 産後2名(うちオンライン1名) ②令和7年11月6日(日)会場: 由井市民センターみなみ野分館 参加者: 妊婦1名夫1名 産後3名(うちオンライン1名) 講師: 睡眠コンサルタント 内容: 赤ちゃんの生活リズムの整え方 概要: 月齢によって変わる赤ちゃんの睡眠パターンを理解し、家族の生活パターンを考える 3 赤ちゃんのお世話体験 ①令和7年8月17日(日)会場: 由井市民センター 参加者: 妊婦1名 ②令和7年12月21日(日)会場: 由井市民センター 参加者: 0名 講師: 助産師 概要: 今どきの子育ての紹介し、自分たちのライフスタイルに合った育児を考えてみる 4 予防接種の話&緊急時の対応方法 ①令和7年9月7日(日)会場: 由井市民センター 参加者: 妊婦2名夫1名 ②令和8年1月18日(日)会場: 由井市民センター 参加者: 産後1名 講師: 小児科医 概要: 赤ちゃんのための予防接種の重要性和緊急時の対応方法を学ぶ 5 特別編 ①おっぱいをやめるときの話 令和8年2月15日(日)会場: ほっこりハウス 参加者: 産後7名 講師: 助産師 概要: 母乳育児をやめるための方法と時期を考える ②保育園入園準備 令和8年3月15日(日)会場: ほっこりハウス 参加者: 産後7名夫3名 講師: 保育士 概要: 子育ての基本となる親子関係と心身の発達を促すためのサポートでの親の役割を知る	

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	本事業は、妊娠期から産後早期の家庭に対し、正しい知識の提供と安心して相談・交流できる場を設けることで、育児不安の軽減と孤立予防を図ることを目的として実施した。講座後アンケートでは、「大変満足・満足」が69.6%、「知りたい内容であった」が76.9%、「今後の生活に役立つ」が72.6%という結果となり、参加者ニーズに沿った支援を提供できたことが確認できた。 参加者からは、「専門職から直接話を聞くことができ安心した」「具体的に何をすれば良いか分かった」「参加者同士で交流でき気持ちが軽くなった」などの声が寄せられ、知識提供だけでなく、不安軽減や心理的支援にもつながった。また、「家族で子育てについて話し合うきっかけになった」との感想もあり、家庭内コミュニケーションの促進にも寄与したと考えられる。 さらに、本事業では妊娠中の家庭だけでなく、生後3か月までの家庭にも対象を広げたことで、産後早期の不安を抱えやすい家庭へも支援を届けることができた。これにより、妊娠期から産後にかけて切れ目のない支援の必要性を確認するとともに、地域における子育て支援体制の充実にもつながった。 一方で、「もっと深く学びたかった」「もっと早く知りたかった」との声もあり、妊娠期から継続して学べる機会へのニーズが明らかとなった。また、オンライン実施における音声面の課題も把握でき、今後の運営改善につながる成果も得られた。 以上より、本事業は、妊娠・出産・育児期の家庭に対する不安軽減、知識普及、交流機会の提供という事業目的に沿った成果を得ることができた。
----------	---

自己評価

事業は申請どおり実施できた	☒ できた		☐ おおむねできた	あまりできなかった		ほとんどできなかった		
主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)								
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	☐ できた		☐ おおむねできた		あまりできなかった		ほとんどできなかった	
	主な理由 講座内容が、妊娠中や産後早期のご家族が知りたい内容であったこと、特別編での企画が新年度の新たに始まる生活に向けて不安を解消する内容だったことがあげられる。							
	効果を表す指標	講座終了後のアンケートで「今後の育児に役立つ」と回答した方の割合			本年度目標値	7割	本年度実績値	8割2分6厘
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	おおむね同じ		☐ 多少の変更があった		大幅に変更した			
	変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ) ①由井市民センターの駐車場に限りがあったため他施設を利用 ②講師の日程で開催月を変更 ③講師料金を5,000円から交通費込み8,000円に変更 ④ボランティアスタッフ謝礼金を東京都最低賃金アップに伴い1,300円に変更 ⑤対象を妊婦家族から生後3ヶ月のお子さんを育てている家族に拡大							
その他、評価すべき点等	①アンケートの取り方について 回答を5段階評価(例 満足1 不満5)にしたが、5と答えた方の中でも肯定的な理由を述べている方が多かった。不満と回答された方の中で満足度が高かったのので5を選んだ方が多かったのではないかと考えている。 ②赤ちゃんの睡眠講座や妊婦の骨盤健診など、今のママたちが興味を抱くであろうテーマを取り上げることができたと思う。 ③特別編の参加が多かったのは、新年度を迎えてのニーズを捉えていたからだと考える。							

今後の事業展開	産後の育児にスムーズに移行していくためには、妊娠中からの知識の普及が大切になる。しかし、妊娠中の方に講座情報を届けるのはとても難しいと感じた。SNSに惑わされないエビデンスに基づいた情報を伝達するためには、まずは開催講座に興味持ってもらうことが重要になる。講座周知のための日ごろからのSNS運用についても考えていく必要があると痛感している。 ①産婦人科クリニック・小児科クリニックとの連携 ②日常的なSNSの発信 ③妊娠中の方が興味を持つテーマの徹底調査 ④産後早期に参加できる講座の充実 ⑤オンライン講座の併用(平日夜の開催も考える)
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	Hello baby～いまどきパパママクラス～
団体名	一般社団法人みんなの居場所づくり隊縁楽結

【収入の部】			
項 目		内 容・内 訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入	参加費2000円×35名	70,000
	その他助成金収入		0
	団体運営費からの繰入金		-10,843
	自己資金の合計額(A)		59,157
八王子市	市民企画事業補助金		100,000
	補助金・助成金合計額(B)		100,000
合計額(C)=(A+B)			159,157

【支出の部】				
項 目		内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費	アウトバス用マット・チラシ送付用封筒・コピー用紙	アウトバス用マット1,406円・チラシ送付用封筒・コピー用紙1,782円・594円	3,782
	印刷製本費	イベントチラシ印刷 会員募集チラシ印刷・封筒印刷	イベントチラシ4,378円、1,041円、1,581円 会員募集チラシ2,291円、 封筒印刷5,578円、170円	15,039
	謝礼・報酬	講師謝礼8,000円/回	講師料金 8,000円×1名 ×5回	40,000
	会場等使用料	市民センターなど会場借用	7月1,000円、8月1,500円、9月900円、 10月600円、11月750円、1月900円、 3月900円	6,550
	交通費	別紙交通費明細書のとおり		2,710
	通信費	チラシ送付切手代金	6月1,890円 11月2,560円	4,450
	備品購入費	赤ちゃん人形 (沐浴用・抱っこ用)	沐浴用54,879円1体 抱っこ用16,147円1体	71,026
	対象経費の合計(D)			143,557
	対象とならない経費	報酬	団体スタッフへの報酬	時給1,300円×2時間 ×1名×6回
対象とならない経費の合計(E)				15,600
合計額(F) = (D+E)				159,157

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	はちおうじ会議開催事業				
団体名	はちおうじ会議実行委員会				
総事業費	527,590 円	補助対象事業費	124,394 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	事業目的は、はちおうじ会議を通じて市内の多様な人同士が新たに出会い繋がることです。参加者皆が同市在住・在勤である特性を活かし、顔の見える形で繋がることで、ネット上にはない健全な人間関係が生まれます。事業効果は、新しい繋がりを創出することで、街に新たな価値が生まれ、将来的に八王子市の経済や情緒的価値を向上させることです。既に参加者同士での新たな協業や企画が一部スタートしたり、新しい友人関係が育まれるなど、効果が表れております。「誰に会おうか」で暮らしの豊かさは大きく変わってくると考えます。
	事業の内容	はちおうじ会議とは、八王子市内在住・在勤者が集い、参加者同士の交流を促すサロン型イベントです。具体的には市内で活躍する個性豊かなゲストスピーカーを3～5名ほど招待し、自身の仕事や生い立ち、関心事について熱意あるプレゼンテーションをひとり10分程度していただきます。聴講者も八王子市在住・在勤者に限定しており、毎回30～50名程度が集まります。その後、ゲストスピーカーと聴講者が一緒になって食事をとりながら、自由に交流できる機会を設けています。また、会場も出来る限り毎回変えることによって、八王子市内にある飲食店や交流拠点、新たな施設に足を運んでもらえるきっかけづくりをしています。

事業の活動実績	【第8回】開催日時: 令和7年5月10日(土)18:00-20:30 開催場所: まちの駅八王子 CHITOSEYA(八日町) 開催詳細: ゲストスピーカーは4名でした。上島浩子さん(一般社団法人日本タッチ育児協会 代表理事)、奥山樹生さん(多摩美術大学大学院生 シナリオライター・俳優)、鹿倉由希江さん(メイクアップアーティスト mimoza8 代表)、小星重治さん(株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット 代表取締役)でした。合計40名(スタッフ含む)で交流致しました。
	【第9回】開催日時: 令和7年8月23日(土)17:00-19:30 開催場所: 長福寺(川口町) 開催詳細: ゲストスピーカーは4名でした。宮崎 耀さん(はちスポ夏祭り 実行委員長)、かなえさん(ゆる着物コーディネーター)、野牧宏治さん(地域コーディネーター)、細谷さくら子さん(江戸独楽アーティスト・大道芸人)でした。合計67名(スタッフ含む)で交流致しました。
	【第10回】開催日時: 令和7年11月22日(土)18:00-20:30 開催場所: TOKYO EXIT GLAMPING BASE 八王子(台町) 開催詳細: ゲストスピーカーは4名でした。村木風海さん(炭素回収技術研究機構 機構長)、松村洋子さん(地域キャリア教育協力隊 代表)、橋本大翼さん(Big Forest 代表)、池田愛さん(つむぎグラフィック 代表)でした。合計35名(スタッフ含む)で交流致しました。
	【第11回】開催日時: 令和8年2月14日(土)17:00-19:30 開催場所: コピテラス(長房町) 開催詳細: ゲストスピーカーは4名でした。松山ほづみさん(ラフターヨガ ティーチャー)、竹下夕紀さん(チベット料理店「ウッチュム」店主)、川村愛弓さん(Smile Clover)、宮島依子さん(想造楽工 班長)でした。合計52名(スタッフ含む)で交流致しました。

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	令和7年度の「はちおうじ会議」は、聴講者数の目標140名に対し、実績154名となり、達成率110%を実現した。内訳は、第8回31名、第9回53名、第10回28名、第11回42名であり、継続的に多くの参加者を得ることができた。これは、本事業が八王子市内における関心喚起と参加促進に一定の成果を上げたことを示している。 また、本事業を通じて、参加した事業者同士の新たなつながりが生まれ、その後、新しいプロジェクトや事業開発に向けた打合せが始まっていると聞いている。単なるイベント開催にとどまらず、市内事業者間の交流促進や新たな連携のきっかけを生み出した点は、大きな成果である。 さらに、川口地域づくりの会、長房の未来をつくる会など、市内各地域の活性化を目的とした団体や施設から協力を得たことで、「はちおうじ会議」に初めて参加する方が多数来場した。その結果、地域や立場を越えた新たな接点が生まれ、市内の多様な主体がつながる場としての役割を果たすことができた。以上より、本事業は市民同士・事業者同士の交流を広げ、地域活性化の土台づくりに寄与したと考える。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	☒ できた	☐ おおむねできた	☐ あまりできなかった	☐ ほとんどできなかった					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	☒ できた	☐ おおむねできた	☐ あまりできなかった	☐ ほとんどできなかった					
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	☒ おおむね同じ	☐ 多少の変更があった	☐ 大幅に変更した						
	その他、評価すべき点等	主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ) 主な理由 主な理由としては、第9回の聴講者数が大きく伸びたことが挙げられる。プロジェクターとスクリーンを同補助金により調達できたことで、これまでにない形の会場である川口町の長福寺での開催が可能となり、多くの参加者を迎えることにつながった。 <table border="1" data-bbox="438 1209 1508 1288"> <tr> <td>効果を表す指標</td> <td>聴講者数</td> <td>本年度目標値</td> <td>140名</td> <td>本年度実績値</td> <td>154名</td> </tr> </table> 変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ) 本事業には、年齢や立場、置かれた状況の異なる多様な市民が参加したことが挙げられる。実際に、病気による後遺症を抱えながらも、これからの生き方を考える中で「はちおうじ会議」に関心を持ち、参加を希望した方もいた。このことは、「はちおうじ会議」が単なる情報提供や交流の場にとどまらず、地域社会とのつながりを感じ、新たな一歩を踏み出すきっかけとなる場として機能していたことを示している。市民一人ひとりが孤立せず、安心して関わることのできる開かれた場としての意義も、本事業の重要な成果の一つであると考えている。				効果を表す指標	聴講者数	本年度目標値	140名	本年度実績値
効果を表す指標	聴講者数	本年度目標値	140名	本年度実績値	154名					

今後の事業展開	今後は、「はちおうじ会議」を継続的に開催し、市内で活動する多様な人や団体がゆるやかにつながる場として、さらに発展させていきたい。これまで生まれた新たなつながりや協力関係を大切にしながら、各地域で活動する団体との連携も広げ、これまで参加の少なかった層にも参加を促していく。また、参加者同士の交流から生まれる新たな企画や地域活動の芽を育てることで、八王子市内の地域活性化に継続的に寄与していきたい。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	はちおうじ会議開催事業
団体名	はちおうじ会議実行委員会

【収入の部】			
項 目		内 容・内 訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入	第8回(88,000)、第9回(151,000円)、第10回(73,500円)、第11回(108,000円)	420,500
	その他助成金収入		0
	団体運営費からの繰入金		7,090
	自己資金の合計額(A)		427,590
八王子市	市民企画事業補助金		100,000
	補助金・助成金合計額(B)		100,000
	合計額(C)=(A+B)		527,590

【支出の部】				
項 目		内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	備品購入費	プロジェクター、スクリーン	プロジェクター57,790円 スクリーン29,800円	87,590
	印刷製本費	チラシ印刷代	第8回～第11回(4開催分)	12,577
	宣伝広告費	SNS広告(Facebook及びInstagram)	第9回～第11回(3開催分)	17,277
	交通費	タイムズカーシェア利用代	第9回開催時	6,950
	対象経費の合計(D)			124,394
対象とならない経費	飲食代	参加者交流の際の飲食代	第8回～第11回(4開催分)	288,200
	支払い手数料	チケット販売サイト「Peatix」 支払い手数料	第8回～第11回(4開催分)	33,290
	謝礼	スタッフ(2名)への謝礼	5,000円×2名×4回	40,000
	謝礼	長福寺への謝礼	10,000円×1回	10,000
	備品購入費	HDMI-TypeC変換アダプター	1個	1,199
	運営積立金			30,507
対象とならない経費の合計(E)			403,196	
合計額(F) = (D+E)				527,590

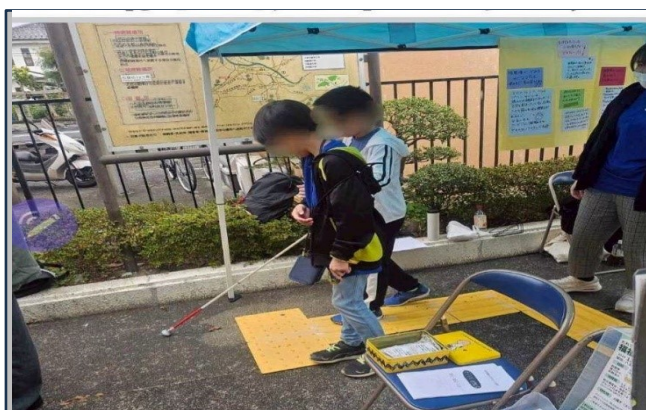
令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	見えない世界 出張教室				
団体名	視覚障がいサポート団体 FANeyes				
総事業費	102,762 円	補助対象事業費	102,762 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	①視覚障がいについての知識を得てもらうことで誤解や間違った先入観を払拭 ②見えない状況を体験理解することで誰もが安全安心して歩ける社会や環境づくりに繋がる ③支えあいの輪をひろげることに加えガイドヘルパー不足解消にも効果を期待 ④目を大切にし視力低下や眼病予防
	事業の内容	イベントや保育園などでの見えない世界出張教室実施。 ①見え方体験 ロービジョン疑似体験 ②白杖歩行体験 ③ガイドヘルパー体験 実際に体験しながら見えない世界や視覚障がいについて知ってもらう。

事業の活動実績	白杖歩行体験、ガイドヘルパー体験、ロービジョン疑似体験に加え、点字でしおりを作ったり点字図書や日用品に触れるなど視覚障がい当事者の話しを交えながら体験していただきました。 福祉まつり、NPOフェスティバル、いちようまつり、チデパのイベントに出展。昨年を上回る人数の方々に体験していただくことができました。またリピーターも多く、熱心に取り組んでいただけました。 毎年実施している由木保育園、長房みなみ保育園でのみえない世界体験教室では年長クラスの子供たちや先生方にも体験していただき毎年の恒例イベントとしてくださっています。 初めての試みでしたが、ご依頼をいただき八王子市立柏木小学校4年生の総合的な学習の時間の授業として講話とみえない世界体験教室を実施させていただきました。視覚障がい当事者の講話に加え、白杖歩行体験、ガイドヘルパー体験、ロービジョン疑似体験、ロービジョンフットサル体験、点字図書や点字のついた食品・日用品に触れよう、点字で自分の名前を打ってしおりを作るなど、普段なかなかできない体験をよりわかりやすく、たくさん挑戦していただきました。 防災の観点からは、陵南公園防災キャラバンへの出展やだれでも福祉防災訓練を主宰し、障がい当事者だけではなく、障がい者施設、町内会、地域のみなさまなど、30名予定のところ80名以上の方にご参加いただきました。その中でみえない世界体験や車椅子介助体験などを盛り込み、体験していただくことで有事の際もサポートを受けやすくなる地域づくりと当事者自身もできることを増やし、だれも取り残されない、命を繋ぐ活動をしました。
---------	---

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	イベントでは年間100名の体験を目標としていましたが、それを大きく上回る400名以上の方にみえない世界を体験していただくことができました。 イベントごとの参加者内訳おおよそ次の通りです。 ・福祉まつり20名・NPOフェスティバル45名・いちようまつり100名・チデパ20名・陵南公園防災キャラバン100名・だれでも福祉防災訓練80名・由木保育園20名・長房みなみ保育園20名・八王子市立柏木小学校40名 となります。 多くの方が高い関心を持ち、熱心に参加され、アンケートや感想からも大変好評で、活動への応援の声広がっていることを実感しました。リピーターやファンも増え、ご依頼やご支援のお申し出を多数いただき、活動の幅が大きく広がっています。 保育園での体験教室は毎年の恒例行事となり、年2回実施のご提案もいただきました。小さな子どもにも十分理解でき、視覚障がいや配慮について考える機会となり、子どもから大人への注意喚起にもつながっています。八王子市内の小学校からは4年生の総合学習授業の講師依頼を受け、中途ロービジョン当事者の講話とFANeyesオリジナルの体験内容が高く評価され、こちらも継続実施となりました。 さらにSNSを通じて千葉県・新宿区・府中市からも依頼があり、福祉防災訓練では地域住民に加え、障がい当事者家族、施設職員、消防・警察関係者にも体験いただきました。人命救助に関わる方々からも新たな気づきがあったとの声をいただき、高尾警察署での講習会提案にもつながりました。こうした活動を通じて、点字ブロックや白杖の意味、視覚障がいへの理解が広がり、誰もが安心して暮らせる地域づくりが進んでいます。
----------	---

自己評価

事業は申請どおり実施できた	できた		☐ おおむねできた	あまりできなかった		ほとんどできなかった		
	主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)							
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	☐ できた		おおむねできた		あまりできなかった		ほとんどできなかった	
	主な理由 目標の体験人数を遥かに超え、多くの方に体験いただいたことや活動している内容の需要も多くあったため。							
	効果を表す指標	白杖歩行体験・ガイドヘルパー体験・見えかた体験参加者 内訳:保育園30名・イベント10名×7回		本年度目標値	100名		本年度実績値	445名
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	おおむね同じ		☐ 多少の変更があった		大幅に変更した			
	変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ)							
	■実施できなかった企画が1つあった。→ 内容:福祉防災講習会(みえない世界体験) 理由:11月22日に実施しただれでも福祉防災訓練に全て詰め込んで行ったため講習会&体験のみの福祉防災講習会は実施をやめました。 ■予定になかった下記のイベントが増えました。 1.八王子市立柏木小学校でのみえない世界体験教室 (年間予定に小学校での実施を目標として入れていましたが実施校が未定だったため) 2.陵南公園防災キャラバン 防災鬼ごっこコラボみえない世界体験							
その他、評価すべき点等	1. 組織体制の強化と情報の共有化でスタッフ全員が関わりを持ち、横の連携が強化された。 2. 活動に関連する資格取得への意識が高まった。 スタッフの自発的な成長意欲は、長期的な活動の質を担保する大きな資産となります。 3. 21名もの専属ボランティアが登録・活躍しており、ボランティアとの協働による活動の拡充。 4. FANeyesの活動を高く評価いただき目録を授与いただきました。 FANeyesの取り組み活動が地域や周囲から深く共感された極めて重要な実績と感じています。							

今後の事業展開	今まで続けてきたイベント出展や福祉防災と絡めた内容での実施、保育園での実施の継続。 小学校総合授業のご依頼を増やす。 警察署、市役所、企業などでの講習会実施の実現 法人格の取得。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	見えない世界 出張教室
団体名	視覚障がいサポート団体 FANeyes

【収入の部】

項 目		内 容・内 訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入		0
	その他助成金収入		0
	団体運営費からの繰入金		2,762
	自己資金の合計額(A)		2,762
八王子市	市民企画事業補助金		100,000
	補助金・助成金合計額(B)		100,000
合計額(C)=(A+B)			102,762

【支出の部】

項 目		内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費	見えない世界体験教室の備品・小物		13,138
	印刷製本費	チラシ・パンフレット・写真		20,340
	会場等使用料	福祉まつり・NPOフェスティバル・いちようまつり・チデパ		16,400
	交通費	各種イベント交通費(別紙交通費明細参照)	18名分	33,384
	ボランティア保険	ボランティア保険料	350円×13人	4,550
	備品購入費	点字ブロック	4EBYA×3個 4EADM×10個	12,350
	謝礼金			2,600
	対象経費の合計(D)			102,762
対象とならない経費				0
	対象とならない経費の合計(E)			0
合計額(F) = (D+E)				102,762

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域の健康支援活動（健康支援配食サービス、簡単料理教室、健康測定会）				
団体名	南大沢認定栄養ケア・ステーション				
総事業費	153,294 円	補助対象事業費	153,294 円	補助金額	95,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	目的 令和6年度から別所地区、長池地区は、介護予防・健康づくりの推進、地域包括ケアシステムの推進の重点地区となっている。南大沢福祉保健センター、高齢者あんしん相談センター南大沢と連携し、低栄養の予防及び生活の質の向上のための拠点が必要である。 栄養ケア・ステーション事業は、管理栄養士、薬剤師の行う保健業務の地域拠点とすることによって、地域住民との結びつきを強化する効果がある。 地域住民が健康ケアの支援と指導を受けることにより生涯に渡り実り豊かで、健やかな生活を維持することのできる、地域社会づくりを目指すことを目的とする。
	事業の内容	内容 1.体力測定会とフレイル予防講座：南大沢保健福祉センターと高齢者あんしん相談センターの要望を受けて実施した。 2.健康支援配食サービス：国の施策の動向を踏まえ、地域の高齢者等の食生活を支援する手段の1つとして実施した 3.簡単料理教室：短時間でできる栄養のバランスのとれた食事内容のメニューの提案と調理技術の習得を目的として実施した。 一部は松木・長池コミュニティスクール：寺子屋と共催で実施した。

事業の活動実績	1. 体力測定とフレイル予防講座(南大沢保健福祉センター出張健康講座)		
	2025年 5月 29日 10:00～11:30	N-city東自治会館	参加者15名
	2. 健康支援配食サービス		
	2025年6月27日 11:00～13:30	N-city東自治会館	参加者13名
	3. 簡単料理教室		
	① 寺子屋料理教室：2025年6月7日 10:00～12:00	松木中学校調理実習室	参加者22名
	② 災害料理教室：2025年10月11日 11:00～14:00	松木中学校調理実習室	参加者17名
	③ 寺子屋料理教室：2025年12月6日 10:00～12:00	松木中学校調理実習室	参加者20名
	④ 地域交流料理教室：2026年3月14日 11:00～14:00	松木中学校調理実習室	参加者24名

事業の様子または成果がわかる写真

寺子屋料理教室風景



災害料理教室風景



事業の成果・効果	① 健康測定会とフレイル予防講座 体力測定(握力、歩行速度、柔軟性、バランス、血管年齢)を実施し、参加者が自身の体力を確認ができた。保健師、管理栄養士からフレイル予防についての講話を聴くことにより、健康づくりのヒントが得られた。参加者15名のうち、約半数の9名がプレフレイル、1名がフレイルであった。 参加者は自身の体力状況が理解できた。 ②健康支援配食サービス 低栄養対策をはじめとする高齢者の食生活改善は、緊急の課題である。 八王子エリア高齢者配食事業社により、「配食サービスを上手に利用しましょう」(厚生労働省)の資料を使用し、レクチャーを実施した。栄養に対する意識付けと高齢者宅配食の理解が深まった。 ③料理教室 ➤ 寺子屋の料理教室 食育の推進、五感の発達、コミュニケーション能力の向上、創造力と柔軟性の育成などの効果により、小、中学生が料理教室に参加することは、食に関する知識や技術の習得だけでなく、総合的な人間力の向上に役立った。 ➤ 災害料理教室 「災害時に備えた食品ストックガイド」(農林水産省)を参考に、ローリングストックについて調理実習前にプレゼンテーションを行なった結果、家庭備蓄のアイデアの学びの場となった。特にフェーズフリーの考え方の認知度は高まった。「いつも」も「もしも」も役立つレシピ集(公益財団法人 味の素ファンデーション発行)とレトルト食品メーカーのアレンジレシピを参考にした調理実習では、ライフライン停止時の食事管理の体験ができた。

自己評価

事業は申請どおり実施できた	☐ できた		おおむねできた		あまりできなかった		ほとんどできなかった	
	主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)							
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	☐ できた		おおむねできた		あまりできなかった		ほとんどできなかった	
	主な理由 活動2年目を迎え、地域への認知度が上がった結果、参加人数が増えた。							
	効果を表す指標	イベント数 イベント参加人数			本年度目標値	イベント数 6件 参加人数 100名		本年度実績値
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	☐ おおむね同じ		多少の変更があった		大幅に変更した			
	変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ)							
その他、評価すべき点等	3回開催した料理教室のアンケートによる満足度は100%であった。次年度もニーズに合わせた献立を工夫し、引き続き実施して行きたい。 体力測定とフレイル予防講座のアンケートによる満足度は満足は91%やや満足は9%であった。前年度の結果では満足が44%であったが今回の結果では、満足度は増加している。 これは、主催者、参加者共に、2回目で進行がスムーズであった事に起因している。測定結果では、プレフレイルの参加者が50%であったため、来年は測定項目や講座内容の検討が必要と考える。							

今後の事業展開	料理教室は松木・長池コミュニティスクール:寺子屋と連携し、寺子屋料理教室を1回増やし年3回開催し親子で参加できる企画も検討している。 健康測定会では転倒防止に焦点を当て、都立大学人間健康科学研究科指導の下、測定項目を検討する。健康支援配食サービスランチ会では、バイキング形式を検討し理想的な選択食を実践的に学ぶ場とする。八王子市の統計では独居後期高齢者は令和3年時点で後期高齢者に対し13.7%で、今後増加が推測される。特に高齢男性は地域活動の参加率が低く、閉じこもりの傾向が強い。 その課題解決のため、市民企画事業補助金以外の活動として「はじめての男の料理教室」を行ってきた。この活動の支援を継続したい。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	地域の健康支援活動(健康支援配食サービス、簡単料理教室、健康測定会)
団体名	南大沢認定栄養ケア・ステーション

【収入の部】			
項 目		内 容・内 訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入		50,100
	その他助成金収入		0
	団体運営費からの繰入金		8,194
	自己資金の合計額(A)		58,294
八王子市	市民企画事業補助金		95,000
	補助金・助成金合計額(B)		95,000
合計額(C) = (A+B)			153,294

【支出の部】				
項 目		内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費	①キッチンペーパーその他 ②料理教室材料費	①36,505円 ②74,210円	110,715
	印刷製本費	ポスターおよび資料等コピー代、市施設利用		9,050
	謝礼	荷物運搬	500円×5回	2,500
	会場等使用料	N-city自治会館	@100円／時間×10時間	1,000
	交通費	スタッフ交通費実費		24,222
	通信費	振り込み手数料、郵便代		2,012
	イベント保険	社会福祉協議会行事保険	33円×115人	3,795
	対象経費の合計(D)			153,294
対象とならない経費				0
	対象とならない経費の合計(E)			0
合計額(F) = (D+E)				153,294

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	Neuro-DiverCity八王子へ向けて：多様な学びを支える地域ネットワークの構築－2年目の挑戦－				
団体名	みんなの学び流星群from八王子				
総事業費	242,586 円	補助対象事業費	239,386 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	本事業は、映画「夢みる小学校」「夢みる校長先生」の自主上映会を通じて、多様な学び方や子どもの主体性を尊重する教育の在り方について市民が共に考える機会を創出することを目的として実施した。上映をきっかけに保護者・教育関係者・地域住民が対話を行い、上映後には他の教育団体とも連携し、地域の教育課題を共有する場を設けた。その中で、保護者・支援者・教育関係者が学習障害(LD)について安心して語り合える場が地域に不足しているという課題が明らかになった。こうした対話の場を令和6年度より継続的に形成し、地域全体で子どもの多様な学びを支える環境づくりにつなげていくことを目的とした。
	事業の内容	本事業では、学習障害(LD)のある子どもを取り巻く地域課題について理解を深めるため、対話の場「つながるカフェ」と教育ドキュメンタリー映画の自主上映会を実施した。「つながるカフェ」では、保護者・支援者・教育関係者が立場を越えて意見交換を行い、地域における教育課題を共有する対話の場を継続的に開催した。また、対話型の場に参加しにくい保護者にも参加の機会を広げるため、映画「夢みる小学校」(令和7年9月27日)、「夢みる校長先生」(令和8年2月1日)の自主上映会を実施した。上映後には参加者同士の交流の時間を設け、多様な学びについて考える機会を創出し、地域における理解とつながりの促進を図った。

事業の活動実績	【映画自主上映会】	- 令和7年9月27日：映画『夢みる小学校』上映／八王子市内フリースクール5団体とのシンポジウム 会場：北野市民センター 参加者：82名(子供7名) - 令和8年2月1日：映画『夢みる校長先生』上映／西郷先生・宮崎先生によるスペシャルトーク 会場：北野市民センター 参加者：77名(子供7名) 〈説明〉・映画を通じて、多様な学びや子どもの主体性を尊重する教育について考える機会を提供 ・シンポジウムやトークを通じて、学校外の学びの場や実践事例を共有 ・保護者、教育関係者、地域住民が共通のテーマで対話する場を創出 ・教育課題に対する理解促進と、地域における関心層の拡大につなげた
	【つながるカフェ(おしゃべり会)】	- 令和7年6月21日『つながるカフェ3』会場：由井市民センターみなみ野分館 参加者：8名 - 令和7年11月8日『おしゃべり会(つながるカフェ4)』会場：南大沢市民センター 参加者：13名 - 令和8年3月7日『おしゃべり会(つながるカフェ5)』会場：由井市民センターみなみ野分館 参加者：5名 〈説明〉・保護者、支援者、教育関係者が立場を越えて意見交換できる対話の場として実施 ・学習障害(LD)や不登校等の課題について安心して語り合える環境を提供 ・保護者同士のつながりを促進し、孤立防止や相互支援のきっかけを創出 ・上映会で関心を持った参加者が継続的に関われる受け皿として機能 【運営メンバーのミーティング】 令和7年7月21日、9月26日、10月22日、令和8年1月31日、2月9日・21日、3月5日・6日 〈説明〉・事業の企画立案、進行管理、振り返り、関係団体との連携や今後の展開について協議(定期的実施)

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	本事業では、映画『夢みる小学校』『夢みる校長先生』の自主上映会および対話の場「つながるカフェ(おしゃべり会)」を実施し、地域住民が教育について主体的に考え、対話する機会を創出した。上映会には保護者、教育関係者、地域住民など延べ185名が参加し、学校教育の現状や子どもの多様な学びについて理解を深める場となった。特に、不登校や発達障害について「子どもに問題があるのではなく、環境との不適合が要因である」との視点に共感する声が多く寄せられ、地域全体で子どもを支える必要性が共有された。
	満足度については、『夢みる小学校』では映画「大変良かった」77.8%、「良かった」22.2%、シンポジウムでは「大変良かった」56.3%、「良かった」37.5%、『夢みる校長先生』では映画「大変良かった」80%、「良かった」20%、スペシャルトークでは「大変良かった」62.2%、「良かった」36.8%と、いずれも高い評価を得た。現役教員からも「保護者の活動に触れ、学校側としても取り組む必要性を感じた」との声があり、学校・家庭・地域が連携して子どもを支える重要性への理解が広がった。
	また、学習障害(LD)に関する相談が増加する中、「つながるカフェ」では保護者同士が安心して意見交換できる場を継続的に運営した。これにより、当事者同士のつながりが生まれ、孤立防止や相互支援のきっかけづくりに繋がった。 さらに、本事業を通じて地域のNPOや教育団体、福祉関係者との連携が進み、市民協働による教育課題への取り組みの基盤が形成されつつある。いわゆる「制度の狭間」にある子どもたちの課題についても地域で共有され、流星群は教育・福祉・市民をつなぐ対話のハブとしての役割を担い始めている。今後は、本事業で生まれたつながりを基盤に、地域全体で子どもの学びを支える環境づくりへと発展させていく。

自己評価

事業は申請どおり実施できた	☐ できた	おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった		
主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)						
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	できた	☐ おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった		
主な理由 本事業は概ね計画どおり実施できた。映画の自主上映会をきっかけに教育や子どもの多様な学びについて関心を持つ市民が集まり、その後の「おしゃべり会(つながるカフェ)」において保護者が意見交換を行うことの重要性を再認識し、地域の教育課題について市民が対話と理解を深める機会を創出することができた。						
効果を表す指標	①「つながるカフェ」の新規参加者数 ②自主上映映画の参加者数		本年度目標値	①新規参加者3名 ②60名/各回	本年度実績値	①6名 ②82/77名
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	おおむね同じ	☐ 多少の変更があった	大幅に変更した			
変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ) 『つながるカフェ』は当初4回の実施を計画していましたが、年間の運営体制を踏まえ、実施回数を3回へと見直した。限られた回数の中で質の高い対話の場を確保することを優先した。						
その他、評価すべき点等	【SNS関係】令和7年度を通して、X、インスタ、Facebook、Peatixを整備した。 【カラフルバードとの連携】カラフルバード八王子として、八王子市内の情報の収集、拡散 【その他】①令和7年10月:NPO法人エッジのディスレクシア月間参加 ②令和7年12月14日:みなみのマルシェ参加(広報) ③令和8年2月22日:NPO八王子会議参加(広報) ④令和8年3月15日:地域デビューパーティー参加(広報) ⑤令和7年10月~令和8年2月:「協創の道プロジェクト」に参加・発表(広報) ⑥令和7年6月~令和8年2月: 「八王子未来共創プロジェクト研究員(第2期)」に参加・発表(広報)					

今後の事業展開	今後も映画の自主上映会をきっかけに、教育や子どもの多様な学びに関心を持つ市民の参加を広げたい。また、この広がりを「つながるカフェ(おしゃべり会)」や「ICT講座」へとつなげることで、地域における継続的な対話と学びの場を形成していく。 特に学習障害(LD)や不登校などの課題について、保護者・支援者・教育関係者が立場を越えて意見交換できる環境を整えられたらと考えている。子どもの学びを地域全体で支える理解の促進を図りたい。最後に、市内の教育団体や関係機関との連携を進め、八王子市における多様な学びを支える地域ネットワークの形成につなげていくとともに、継続的な活動基盤の強化を図りたい。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	Neuro-DiverCity八王子へ向けて：多様な学びを支える地域ネットワークの構築－2年目の挑戦－
団体名	みんなの学び流星群from八王子

【収入の部】

項目	内容・内訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入 上映会9/27@ (¥1400×75名(大人))-¥9260(手数料等)=¥95,740・2/1@ (¥1500×70名(大人)-¥7455(手数料等)=¥97,545) つながるカフェ参加費 6/21@¥300×4名=¥1200	194,485
	その他助成金収入	0
	団体運営費からの繰入金	-51,899
	自己資金の合計額(A)	142,586
八王子市	市民企画事業補助金	100,000
	補助金・助成金合計額(B)	100,000
合計額(C) = (A+B)		242,586

【支出の部】

項目	内容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費	文具(封筒、ノート、ファイル等)、プリンターインク	14,200
	印刷製本費	ちらし印刷費、LIFT印刷費、原稿等印刷費	¥4,766×2回 その他 ¥6,350
	謝礼・報酬	9/27-音響・映像2名 2/1-音響・映像2名、登壇者2名	9/27 @¥15,000 2/1 @¥35,000
	会場等使用料	北野市民センターホール等	9/27 @¥16,200 2/1 @¥13,200
	交通費	2/1-登壇者2名分	¥3,000×2名
	通信費	DVD送付(レターパック)	¥600×2回
	手数料	DVDレンタル振込手数料	¥550×2回
	備品購入費	書籍	11冊
	SNS広告費	Peatix、Facebook	Peatix @¥1,650 Facebook @¥4,000
	映画上映費用	DVDレンタル代	¥50,000×2回
対象経費の合計(D)			239,386
対象とならない経費	交通費	駐車場代・ガソリン代	3,200
			0
			0
			0
対象とならない経費の合計(E)			3,200
合計額(F) = (D+E)			242,586

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子保活カフェ(先輩パパ・ママによる保育園探し&復職準備の情報提供)&子育てのWA(親子イベント)				
団体名	kosodate802(コソダテハチマルニ)				
総事業費	92,250 円	補助対象事業費	86,307 円	補助金額	69,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	育児中・仕事探しをしている親にとって、保育園の入園は非常に重要なことであるが、「保育園入園のためにすべきこと」の有益な情報を得ることは中々難しい状況である。そこで、保育園探しに有用な情報を提供する他、復職後の両立アドバイスをを行うことによって、子育てと仕事の両立を安心して行えるような保活サポートイベントを行いたいと考え実施した。 2年目の今年は、保活カフェに加え、同時開催で子育てイベントを実施し、近い世代との交流や、個人が知りたい情報を選んで収集する機会を提供を行った。 また、追加のイベントとして、乳幼児の家庭に役立つ「赤ちゃんのいる家庭のための防災講座」も実施した。
	事業の内容	「保活カフェ」は、八王子市内で保育園探しを経験したママ・パパが、これから保活(保育園探し)をするママ・パパに向けて、保活とは、いつ・何を・どのようにやるのか、仕事復帰後にどのように仕事と家事・育児を両立させているのか等の経験談を話すイベントである。このイベントを実施した。 「八王子子育てのWA」は、親子で楽しめるイベントや講座により様々なジャンルの情報を知ることができる参加型イベントを目指して実施した。 追加イベントとして「赤ちゃんのいる家庭のための防災講座」を実施した。

事業の活動実績	日時:2025年8月30日(土)10:00~16:00 場所:学園都市センター八王子
	①八王子保活カフェ2025(第一セミナー室・14:00~15:30) 1、kosodate802・先輩ママの紹介 2、「保活ってどうやったらいいの?」1年間のスケジュール、少しでも入園確率を上げるために今出来ること 3、先輩ママへの質疑・まとめ ②赤ちゃんのいる家庭のための防災講座(第一セミナー室・10:00~12:00) 1、八王子市防災課による防災講座 2、榊明治による「赤ちゃんの避難時に必要なもの」「日頃食べているお菓子も非常食に!?防災リュックの話」 ③知ろう!繋がり!八王子子育てのWA!(ギャラリーホール・10:00~16:00) ・緑日風の駄菓子釣りや的あてゲーム(無料) ・ハンドメイド作家によるワークショップ、フォトグラファターの写真撮影会、ベビーマッサージやリンパマッサージ体験等 講演会場では、赤ちゃん連れの家庭向けにごさ席の用意を行ったり、ギャラリーホールではおむつ替えスペースの用意などを行った。 ※写真は当日イベントの様子(撮影許可を得ています) 左:防災講座、右:八王子子育てのWA! 終了後集合写真

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	当日参加者累計63世帯(156名)となり、目標の50名を大きく上回った。(各イベント毎の内訳詳細は下記) 講座2つのアンケート結果は、保活カフェ・防災講座それぞれ「大変よかった」と「よかった」の合計が90%以上を目指し、結果はいずれも100%となり、満足度の高いイベントとなった。 (内訳詳細) ①八王子保活カフェ2025 参加者：21世帯(43名) アンケート集計結果 回答者13 非常によかった81%、よかった19% 合計100% ②赤ちゃんのいる家庭のための防災講座 参加者：13世帯(29名) アンケート集計結果 回答者9 非常によかった86%、よかった14% 合計100% ③知ろう！繋がろう！八王子子育てのWA！ 参加者：29世帯(84名) ※アンケートは講座のみでハンドメイドイベントは実施しなかった。 保活カフェは昨年に引き続き好評であった。防災講座は、初の試みであったが八王子市防災課と株式会社明治にご協力頂き、専門的な内容まで質問することができた他、八王子市特有の防災事情・防災対策を学ぶことができた。子育てのWA！イベントは昨年は助成金事業の対象外であったが、昨年からの反省を生かすことができ、会場も大きく、無料コーナーも設けたことで、非常に賑やかなイベントとなった。出展者と参加者の交流や、出展者同士の交流も各所で見られた。 事業の目的としていた、ゆるやかな交流と、保活や防災に関しては必要な方に有用な情報を届けるという点で目的を果たせたと考えている。 出展者様の説明会や団体メンバーとのミーティングはZoomを通してオンラインで実施することで交流を図りながら円滑に事業を遂行することができた。

自己評価

事業は申請どおり実施できた	できた	おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった	主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)	
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた(応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	できた	おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった	主な理由 助成金を得ることで広く対面で集まる機会が得られるようになり、対面で集まるよさを実感している。ゆるやかな交流と、必要な方に有用な情報を届けるという点で目的を果たせたと考えている。	
	効果を表す指標	参加者数とアンケートによる満足度調査		本年度目標値	参加者50名以上、アンケート満足度の非常に良かったと良かったの合計が90%以上	本年度実績値 参加者 156名 満足度 100%
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	おおむね同じ	多少の変更があった		大幅に変更した		
	変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ) 防災講座の追加(変更届提出済)による、会場の変更、プロジェクターが他の団体に予約されていたために、(株)明治様にお借りした。(無料)					
その他、評価すべき点等	保活カフェは昨年の対面・オンラインの同時開催のハイブリッド型から、対面のみに変更した。オンライン配信費用を他に回すことにした。元々、オンラインイベントは定期的に行っていたため、対面イベントに集中できたことはよかったのではないかと考えている。 防災講座は、八王子市防災課×株式会社明治×市民活動団体(kosodate802)の3つの機関で実施することが出来たのは今までにない規模、そして高い質の講座ができたと思う。					

今後の事業展開	助成金を得ることで広く対面で集まる機会が得られるようになり、対面で集まるよさを実感しており、来年も以降も継続して続けて行きたいと考えている。 費用面では、イベント規模を大きくしたことにより、昨年度より多くの出展者からの出展費用を得ることができた。また、保活カフェの認知度が向上したことで、講演費用収入も入るようになったため、今度の見通しが立ちつつある。昨年から継続しているコーヒー店とのコラボレーション商品の発売も今年も実施した。SNS等を活用した宣伝費の獲得を目指しており、引き続き資金調達の模索を続けて行きたい。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	八王子保活カフェ(先輩パパ・ママによる保育園探し&復職準備の情報提供)&子育てのWA(親子イベント)
団体名	kosodate802(コソダテハチマルニ)

【収入の部】

項 目	内 容・内 訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入	イベント出展料(2000円×14団体+500円×1団体)
	その他助成金収入	0
	団体運営費からの繰入金	-5,250
	自己資金の合計額(A)	23,250
八王子市	市民企画事業補助金	69,000
	補助金・助成金合計額(B)	69,000
合計額(C)=(A+B)		92,250

【支出の部】

項 目	内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費	プリンターインク代 チラシお渡し用袋代	インク代572円 袋代939円
	印刷製本費	子育てのWA・保活カフェ・防災講座チラシ	各200部600枚と子育てのWA両面印刷1300部
	謝礼・報酬	イベント当日のボランティアスタッフ謝礼	1,000×8名
	会場等使用料	2025年8月30日(土)第1・2ギャラリーホール、第1セミナー室	会場費36,200円 拡声装置利用料3,000円
	交通費		0
	通信費	Zoom使用料(12カ月分)	4・5月@2,338円×2 6～3月@2,484円×10
	対象経費の合計(D)		86,307
対象とならない経費	消耗品費	景品用お菓子代	5,943
	対象とならない経費の合計(E)		5,943
合計額(F)=(D+E)			92,250

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生きるための「栄養学」と「エンディングノート作成」講座				
団体名	一般社団法人まもりすくん				
総事業費	275,470 円	補助対象事業費	275,470 円	補助金額	124,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	「エンディングノートを自分らしく生きるために利用する」 「まず緊急時に必要なことから書き上げる」 生きることの特化したエンディングノート講座を行う。 「死」を連想して書くことをためらう人にも、食と結びつけることで、記録を残すことは生活にかかせないのだと認識してもらうことができる。 孤立死防止や望まぬ終末期の回避をめざし、介護・医療現場においてもACP(アドバンス・ケア・プランニング)の実践に役立つ効果がある。
	事業の内容	八王子市内にて全2回、各20名を対象に講座を開催。 エンディングノート作成講座の後に、栄養士が考えた食事を取りながら栄養健康講座を行う。 ①生涯学習センター南大沢分館(9月)、 ②オレオール☆オーガニック・カフェ就労継続支援A型(2月)

事業の活動実績	2回の講座を行った。参加者合計40名。 ①生きるための「エンディングノート作成」と「栄養学」講座 9月15日(月)生涯学習センター南大沢分館調理実習室 参加者19名 講師:大曲千恵(終活カウンセラー1級)渡辺紀子(栄養士) ②生きるためのエンディングノート作成と栄養健康講座 2月7日(土)オレオール☆ 参加者21名 講師:大曲千恵(終活カウンセラー1級)・杉本美喜子(栄養士)・安西香織(歯科衛生士) 周知活動 市民センター等にチラシ配架。高齢者あんしん相談センター・はちまるサポート・団地・市民団体等への説明・周知。団地へのポスティング。はちコミねっと、由木マルシェのネット掲載、Facebook等へのSNS周知。 企業への協賛集めの活動 得られた協賛金で「まもりすくん」Tシャツを制作。「ひとり」の意思を大切にする活動を広げるため、メンバーで着用し、周知活動を行った。
---------	--



事業の様子または成果がわかる写真

事業の成果・効果	アンケート結果 回答数36名/参加者40名 50歳以下9名 60代9名 70代14名 80代4名 女性27名 男性9名
	エンディングノートを今まで持っていたという方は21名だったが、全部書いた方はそのうち3名だった。ほとんどの方が一部しか書かずにそのままとなっていた。 エンディングノートはいつ書くかの質問には、元気なうちに書いておくという方が24名、誰でも必ず必要と考える方が14名。(複数回答) エンディングノートの書き方がわからない、医療や介護の情報が欲しい、認知症になったときにどうしたら良いかを知りたい、延命治療や尊厳死について知りたい、片付けについて知りたいという意見が多かった。 困ったときの相談先は親族が14名で1位、2位が高齢者あんしん相談センターで10名だった。
	親族がいない方や若い方は終活で困ったときに相談先がわからないという印象があった。エンディングノートについては、家で独りで書くことに抵抗がありついそのままになっていて、私たち「まもりすくん」で毎月行っているような作成と情報収集講座での継続支援は必要だと感じた。
	参加者のうち9名が3冊のうちの他の2冊も書き上げたいと、引き続き4月から毎月開催される生きるためのエンディングノート作成講座に参加することになった。

自己評価

事業は申請どおり実施できた	☐ できた	おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった		
	主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)					
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	☐ できた	おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった		
	主な理由 ネットでの申込入力がうまくできなかった、本人が参加したくても家族が止めた(認知症だから行かせられない)、当日体調不良になったなどの理由で、開催直前に参加できない方が複数出た。そのため再度声掛けを行って不足を補うのが大変であったが、なんとか目標数を達成した。生きるためのエンディングノートがなぜ3冊に分かれているのか、その意味を理解してもらえた。					
	効果を表す指標	講座参加者数	本年度目標値	40名	本年度実績値	40名
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	おおむね同じ	☐ 多少の変更があった	大幅に変更した			
	変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ) 当初は、2回とも公共の調理室を使う予定であったが、2回目は就労継続支援A型事業所のカフェに変更した。1回目では使用した器具を収納する前の点検に時間がかかり取られたり、食事時間に合わせると時間の融通が効かないなどで、講座時間を減らさざるを得なかった。そのため2回目は時間をフルに使える民間の場所に変更した。					
その他、評価すべき点等	この事業を行うために告知活動に力を注いだ。教材費の用途別に分かれたエンディングノート3冊2,000円には意味がある、必要だと言われたが、今回は栄養講座もするために食事代が加わり3,000円となり金額がネックとなって参加をためらう方もいた。「死ぬためではなく生きるための講座です。」とメンバーで分担し丁寧に趣旨を説明して回った。また、今まで寄付をお願いしたことがなかったが、初めて企業をお願いして回った。自信を持って、自分たちの行っている「ひとりの意思を大切に活動」を紹介するために、手紙を書いたり、ひとりひとりに会って説明をした。分かり易く活動を紹介するために、プロボノワーカーや市民活動支援センターの職員にアドバイスをもらったことは、これからの活動にも大変参考になった。					

今後の事業展開	元気なうちに書くものだとして24名が答えた。交通事故などで元気な方が突然亡くなることもあり、若いうちから書くことを啓発し続けたい。今回60代以下の参加者が半数あった。興味を持つ大学生と一緒に取り組むなどの八王子らしい事業展開を考えたい。 夢は、八王子市の公式エンディングノートに私たちのノートを採用してもらうこと。他市の公式エンディングノートは病院には持っていけない。なぜならばエンディングノートには財産を書く欄があり、それを看護師や介護士には見せられないから。そのため、まもりすくんのエンディングノートは3冊に分かれており、そのうちの2冊は自分らしく生きるために必要なノートとなっている。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	生きるための「栄養学」と「エンディングノート作成」講座
団体名	一般社団法人まもりすくん

【収入の部】			
項	目	内容・内訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入	食事代1,000円×39名+教材費(エンディングノート3冊2,000円)×30名	99,000
	その他助成金収入		0
	団体運営費からの繰入金		2,470
	寄付	(株)つむぎメモリアル・(株)フォーギブネス・SLEEP SQUARE・(株)エータイ・タチカワファッションラボ・リーフ・くまのお葬式・(株)HABING・(株)EISEI・オレオール☆	50,000
	自己資金の合計額(A)		151,470
八王子市	市民企画事業補助金		124,000
	補助金・助成金合計額(B)		124,000
合計額(C) = (A+B)			275,470

【支出の部】				
項 目		内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費	①コピー用紙②インク③エコバッグ④ゴミ袋⑤カラー用紙⑥食材⑦スポンジ等	①1セット②2③40④小4大2⑤各1⑥3⑦適宜⑧各1	66,971
	印刷製本費	①チラシ②エンディングノート	①2,000枚5,180円/2,000枚5,170円②100セット83,983円+資料印刷100円	94,433
	イベント行事保険料	①9/15分②2/7分	①863円②995円	1,858
	謝礼	①9/15外部講師②2/7外部講師	①15,000円②15,000円	30,000
	会場等使用料	①9/15八王子市生涯学習センター南大沢分館②オレオール☆	①1,350円②12,650円	14,000
	交通費	周知活動・打ち合わせ・当日	別紙明細書のとおり	51,241
	備品購入費	①スタッフTシャツ	①8枚	16,967
	対象経費の合計(D)			275,470
対象とならない経費				0
				0
				0
	対象とならない経費の合計(E)			0
合計額(F) = (D+E)				275,470

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	パラコレクション八王子				
団体名	パラコレクション八王子実行委員会				
総事業費	3,089,093 円	補助対象事業費	2,496,492 円	補助金額	500,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	このイベントでは、大きく3つの目的を掲げています。1つ目は「障害者の自立支援」であり、障害のある方々が心理的な壁を取り払い、社会の中でより活躍できるようになることを目指します。2つ目は「社会への障害者理解」の促進です。障害者が“地域の負担”ではなく、むしろ社会に貢献できる存在であることを、ファッションショーを通じて広く知ってもらいきっかけづくりを行います。3つ目は「地域の訪問理美容産業の認知拡大」です。まだまだ一般的に知られていない訪問理美容というサービスを、イベント参加者に体験・見学してもらうことで、その価値や利便性を実感していただきたいと考えています。
	事業の内容	このイベントでは、主に障害のある方々にモデルとしてご登場いただき、一般的なファッションショーと同様にドレスや着物をまとい、プロのヘアメイクを施したうえで約90分間のランウェイをお披露目します。前後には障害を持つシンガーやダンサーのパフォーマンスの時間を設け、イベント全体をさらに盛り上げます。会場の両サイドには車椅子のまま着付けやヘアメイクを体験できるブースを用意し、実際に身体に合った装いを楽しむきっかけづくりを図ります。また、福祉関連企業や団体が自身の活動やサービスをアピールできるPRブースも併設し、情報交換やネットワークづくりの場として活用していただきます。

事業の活動実績	パラコレクション八王子は、障害の有無や年齢、性別等に関わらず、すべての人が自分らしく表現し、地域社会とつながる機会を創出することを目的として活動してきました。主な取り組みとして、インクルーシブファッションショーを中心としたイベントを企画・運営し、障害当事者をモデルとして起用することで、自己表現の場を提供しました。本イベントでは、障害当事者モデルを中心に計11名が出演し、約50名のボランティアスタッフ、さらに協賛・協力企業約40社の参加を得て実施しました。準備段階から実行委員会形式で運営を行い、モデル募集やボランティア参加を通じて、障害当事者およびその家族が主体的に関われる体制を構築しました。 イベント当日は、ファッションショーに加え、音楽・ダンスパフォーマンスや協賛企業によるブース出展を行い、地域に開かれた交流の場を創出しました。当日は約500名の来場者があり、障害や多様性について自然に触れ、理解を深める機会となりました。 さらには「障がいとオシャレ」をテーマに、障害当事者の満足度向上とファッションビジネスの両立について、関係者間で建設的な議論を行うことができ、新たな価値創出の可能性を共有する場ともなりました。これらの活動を通じて、障害当事者の社会参加促進、地域における共生意識の醸成、関係団体間のネットワーク形成といった成果が得られており、今後も継続的な地域共生モデルの構築を目指してまいります。
---------	--

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	本事業の実施により、障害当事者の社会参加および自己肯定感の向上という点で大きな成果が得られました。障害当事者モデルとして参加した11名は、ファッションショーという非日常的な舞台に立つ経験を通じて、自身を表現する喜びや達成感を得ることができ、参加者本人だけでなく家族からも前向きな変化が見られました。 また、パフォーマンス時間での視覚障害者の社交ダンスやスペシャルニーズの子ども達のダンスは会場全体で盛り上がる演出があり一体感が生まれました。 そして、来場者約500名に対し、障害の有無に関わらず共に楽しむ空間を提供することで、障害や多様性に対する心理的な壁を下げ、理解を深める機会を創出しました。特に、福祉分野に直接関わりのない一般来場者からは、「自然に障害について考えるきっかけになった」「身近に感じられた」といった声が多く寄せられ、啓発効果が確認されました。 さらに、本事業を通じて福祉施設、医療・介護関係者、教育機関、企業、アーティストなど延べ20団体以上が連携し、新たな地域ネットワークが形成されました。これにより、イベント後も継続的な情報交換や協力関係が生まれ、今後の地域共生事業への発展が期待されます。 これらの成果により、本事業は単発のイベントにとどまらず、障害当事者の社会参加促進、地域住民の意識変容、関係機関の連携強化という複合的な効果を生み出しており、地域における共生社会の実現に寄与する取り組みとなりました。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	できた	☐ おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった
		主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)			
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	できた	☐ おおむねできた	あまりできなかった	ほとんどできなかった
		主な理由 本事業の実施により、応募申込時に掲げた本年度の目標については概ね達成することができたと考えております。 来場者数や参加モデル・関係団体数、イベント内容の充実度など、当初想定していた成果は一定程度得られ、関係者や参加者からも肯定的な声が多く寄せられました。 一方で、来場者アンケートにつきましては、当日の運営体制に限られる中、出演者対応・安全管理・進行調整等を最優先事項として対応した結果、十分な準備時間を確保することができず、実施に至りませんでした。 これは運営上の課題であり、今後は事前準備段階からアンケート実施を含めた役割分担や運営体制をより明確にし、定量的な効果測定を行える仕組みを整えていく必要があると認識しております。			
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	☐ おおむね同じ	多少の変更があった	大幅に変更した	変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ)
その他、評価すべき点等	本事業の反省点として、主に二点が挙げられます。 一つ目は、広報・周知に関する点です。イベントチラシの制作および配布開始が開催約2か月前となり、周知期間が十分とは言えませんでした。より早い段階から準備・発信を行うことで、来場者層の拡大や認知向上につなげる余地があったと考えております。 二つ目は、当日の進行管理に関する点です。メインとなるファッションショーの進行が想定よりも早く進んだ結果、ヘアメイクの準備が間に合わず、約10分間進行を停止する場面が生じました。この影響により、一部の来場者が途中退場する状況が発生しました。進行スケジュールや各工程に対する共有およびリハーサルが十分でなかったことが要因であり、事前により入念なりハーサルを行う必要があったと認識しております。 来場者数は当日配布のパンフレットの残部数より把握しております。出演モデル・ご家族のアンケートの集計より、初めは不安を感じながらの取組みでしたが終わった感想は自信がついた。楽しかった。などの意見が寄せられました。普段、着ることができない振袖・袴を着用しメイクをしている途中から表情が生き生きと変化した様子も感じられました。				

今後の事業展開	本事業の実施にあたり、準備期間や運営体制の構築が十分とは言えず、集客や協賛金の確保において課題が残りました。次回以降は、早期からの計画立案と役割分担を明確にした運営体制を整え、関係者との調整に十分な時間を確保した上で事業を実施していきたいと考えています。 また、他の障害者団体や企業との連携を一層強化し、相互に価値を生み出せるマッチングの機会を創出することで、事業の安定性と発展性を高めてまいります。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	パラコレクション八王子
団体名	パラコレクション八王子実行委員会

【収入の部】

項目	内容・内訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入	0
	その他助成金収入	0
	団体運営費からの繰入金	4,093
	企業協賛金	2,585,000
	自己資金の合計額(A)	2,589,093
八王子市	市民企画事業補助金	500,000
	補助金・助成金合計額(B)	500,000
合計額(C) = (A+B)		3,089,093

【支出の部】

項 目		内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	チラシ、冊子デザイン費	集客用チラシ(デザイン料)		173,700
	印刷製本費	ポスター、パンフレット	ポスター100部チラシ30,000部/当日パンフレット1,000部	165,393
	委託料	会場設営・音響・照明	一式 1,254,100円	1,254,000
	会場等使用料	東京たま未来メッセ・えきまえテラス	東京たま未来メッセ728,607円/えきまえテラス51,600円	780,207
	衣装費	貸衣装費・小物		120,992
	手数料	振込手数料		2,200
	対象経費の合計(D)			2,496,492
対象とならない経費	飲食代	事前打合せ会議・当日打ち上げ飲食・スタッフ食事		150,935
	消耗品費	領収証・テープ・封筒・名刺代など		49,898
	租税公課	印紙代	12枚	2,400
	イベント保険料	スタッフ用50名 来場者用500名	スタッフ用 1,950円 来場者用 7,290円	9,240
	動画撮影費	当日の動画撮影費		90,200
	宣伝費	プレスリリース・ライティング		65,025
	通信費	郵便・宅急便		23,540
	旅費交通費	航空券・宿泊		43,488
	手数料	振込手数料		3,025
	報酬・謝礼	協賛企業お礼品・スタッフお礼		133,050
	会場等使用料	会場予約手付金		21,800
	対象とならない経費の合計(E)			592,601
合計額(F) = (D+E)				3,089,093

令和7年度(2025年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	かぶかぶ山のようにちえん「八王子くわっば」～0歳からみんなで外遊び・自然遊びしようの会～				
団体名	特定非営利活動法人かぶかぶ山のようにちえん				
総事業費	118,605 円	補助対象事業費	71,185 円	補助金額	23,000 円

事業の目的・内容	事業の目的	目的は大きく以下の3点です。 ①乳幼児向けの自然体験機会の不足を解消するための機会をつくる。 ②豊かな自然を周知し、身近な環境に目を向けるきっかけとする。 ③地域コミュニティの希薄化による乳幼児期の孤立・孤育てを解消する。
	事業の内容	0歳からの乳幼児向けの「外遊び型子育て広場」を4回、および「0歳からの親子自然体験」を8回の計12回の活動を行います。山沿いや里山、街中の公園などさまざまな場所で、保育や自然遊びの専門家や子育て経験者が常駐し、旬な自然を感じながら過ごします。どなたでも気軽に安心して集い、のんびり過ごす中で、同じ子育て経験者と話したり、自然体験ができるような工夫と心掛けをしました。 体験の内容としては、乳幼児期に必要な五感を使った自然遊びが中心。親子がともに楽しめるような促しと道具の用意をしました。楽しくコミュニケーションをとれるように意識し、みんなで子どもの成長を共に喜べるような空気づくりをしました。

事業の活動実績	6月から事業を開始し、予定通り計12回開催することができました。実施内容は、昨年度のアンケートや参加率から出されたニーズを考慮して設定しました。実施結果以下の通りです。 6月5日@陵南公園:助産師さんとのびのびヨガとなんでも相談会&初夏の自然さんぽ。参加者12名 7月3日@雑荘:室内で七夕飾り作り、子育て談話、読み聞かせ。参加者8名 7月31日@小田野中央公園:川あそびと木陰の生きものさがし。参加者26名 ※雨天より7月17日より変更 8月21日@小田野中央公園:川あそびとスイカ割り。参加者15名 9月16日@小田野中央公園:川あそびと林のおさんぽ。参加者2名 ※雨天より9月4日より変更 10月2日@陵南公園:季節のわらべうたあそび&初秋の自然さんぽ。参加者19名 10月16日@滝山城址公園:小さなお山のぼりでお花や木の実を愛で歩く。参加者4名 11月20日@陵南公園:助産師さんとのびのびヨガとなんでも相談会&秋さんぽ。参加者19名 12月16日@片倉つどいの森公園:たき火でおやつ作りと園内さんぽ。参加者33名 1月15日@雑荘:室内でお正月クラフト(飾りや独楽など)と子育て談話。参加者6名 2月19日@片倉つどいの森公園:たき火でおやつ作りと風あそび。参加者24名 3月26日@片倉つどいの森公園:たき火でおやつ作りとキャンプ体験。参加者8名 雨天延期(室内への振替よりも野外あそびを希望する声があったため)をした2回と、雨天だが野外で実施した回は、キャンセルも出て少人数での実施となりました。逆にお天気の良い日のは参加者が多くなる傾向にあります。また、助産師やわらべうたうたいがゲストで来た無料の回には、ゲスト目当てに初めての人が集まり、そこで自然遊びや場の雰囲気も気に入り、次回以降のリピートにつながるケースがありました。	

事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	初めてでも参加しやすい雰囲気を中心に、親子で気軽に自然体験ができるような工夫を随所にしました。親御さんにとっては、1人で子どもと向き合うよりもみんなで過ごすことで心も落ち着き、子どもの言動で新発見をすることも多くあったようです。各回の事後に行ったアンケートでは全体的に事業への高い評価を得ることができました(アンケート回答率は57%)。以下、参加者からの感想(一部を抜粋)です。 ・自分の経験値からはとても思い付かないような遊び方を沢山できて、とても豊かな時間でした。もっともっと自然の中で子どもと過ごしたい！と思いました。 ・久しぶりのくわっばはやっぱり親子で楽しく過ごすことができました。みなさんに会えて嬉しかったです！ ・自然にふれられて、心も身体も元気になりました。また参加させてください。 ・周りの子が生きものを捕まえる様子、お弁当を食べる、すいかを食べる、一緒に体験できて良かったです。 ・子ども達は感想を言えたり、自らこれやってみたいと進んでやっている姿を見て成長してると感じさせられました。 ・虫の苦手な息子が、スタッフさんに見せてもらいながら、生きものとの距離が近くなっていました。母も虫が苦手なので、息子に良い機会になったと思います。 ・初の滝山公園、霧雨で静かな雰囲気の中、草木の色々な発見をできて、母子ではできない体験を沢山させてもらいました。 ・大人も沢山いて、みんなで子どもたちを見守るあの景色がとても印象に残っています。我が子のペースで遊んで、活動に参加して、ありのままの我が子の姿がたくさん見られて幸せでした！人生初の火おこしも嬉しかったです！ 親にも子にも効果的であったと伺えます。印象に残っているのでは、小雨でも決行したところ参加してくれた方がいたことです。雨でも楽しめること、雨だから見えるものがあるのと知ってもらえる機会となりました。

自己評価

	事業は申請どおり実施できた	できた		☐ おおむねできた	あまりできなかった		ほとんどできなかった	
		主な理由(あまりできなかった、ほとんどできなかったと答えた場合のみ)						
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	できた		☐ おおむねできた	あまりできなかった		ほとんどできなかった	
		主な理由 参加者へのアンケートや直接会話した中で、このような自然体験をベースとしたコミュニケーションの場を求めている、または子育てに適していると話す方が多くいたこと、リピート参加につながっていたことから、効果があったと考えています。 ※アンケートでの回答より算出(アンケート未回答の人は含まれていないが、口頭で確認していた中では8割以上が満足)						
		効果を表す指標	①参加人数 ②実施後アンケート「外遊び・自然遊びの満足度」		本年度目標値	①180名/年 ②70%		本年度実績値
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	おおむね同じ		☐ 多少の変更があった	大幅に変更した				
	変更があった理由(多少の変更があった、大幅に変更したと答えた場合のみ) 有料の回の参加者が少ない日があり、支出を減らして対応した。							
その他、評価すべき点等	八王子の子育て支援情報が掲載される『ぐるっとママ八王子』にて、くわっばの活動が紹介されました。編集者のお1人が娘さんと参加してくれ、とても楽しんでくださいました。その経験と感想をブログとして報告してくれています。子育てにおすすめの場として自信を持てる内容でした。							

今後の事業展開	来年度も、今年度と同じ考え方や進め方で実施していきますが、これまでとは違う広報媒体を考え、より多くの方に参加してもらえるように努めます。主には地域の保育関係施設や関係団体に活動を伝え、広報に協力していただけるようにしたいと考えています。 活動を普及していくと同時に、スタッフ体制を整え内容の充実も図ります。すでにこの一年参加してくれた保護者が活動の趣旨に賛同し、自らも自然体験が好きであるため加入が決まっています。また、保育や自然体験活動の仕事を希望する学生などのボランティアも受け入れ、育成しながら活動することで、参加者希望者が増えても安全に多く受け入れられるような体制を築いていきます。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業名	かぶかぶ山のようにちえん「八王子くわっば」～0歳からみんなで外遊び・自然遊びしようの会～
団体名	特定非営利活動法人かぶかぶ山のようにちえん

【収入の部】

項 目	内 容・内 訳	事業費(円)
団体自己資金	事業による収入 参加費①1000円(親子2人)/7回36組36000円 ②1500円(親子3人)/7回9組13500円 ②2000円/2回7組14000円	63,500
	その他助成金収入	0
	団体運営費からの繰入金	32,105
	自己資金の合計額(A)	95,605
八王子市	市民企画事業補助金	57,000
	戻入額	-34,000
	補助金・助成金合計額(B)	23,000
合計額(C) = (A+B)		118,605

【支出の部】

項 目	内 容	単価・数量など	事業費(円)
助成金の交付対象経費	消耗品費 ①虫よけスプレー ②ガスボンベ(3本) ③経口補水液 ④蚊取り線香 ⑤塩分チャージ ⑥工作費	①968円×1 ②789円×1 ③213円×2 ④217円×2 ⑤203円×2 ⑥220円、400円、330円	3,973
	印刷製本費 ①チラシ印刷費(300部)②アンケート印刷 ③チラシコピー	①1980円 ②800円 ③390円、500円	3,670
	謝礼・報酬 ①助産師講師:2名 ②わらべうた講師:1名 ③市民講師:1名	①3000円×2名 ②3000円×1名 ③5000円×5回×1名	34,000
	会場等使用料 雑荘@中西ファーム ①7/3利用分 ②1/15利用分	①6000円、4000円 ②4500円	14,500
	保険料 損害責任保険、傷害保険	9930円	9,930
	備品購入費 キャンプテーブル	5112円×1	5,112
	対象経費の合計(D)		71,185
対象とならない経費	通信費 ①切手 ②封筒 ③レターパック	①110円×2 ②239円 ③430円	889
	飲食代、消耗品費 ①おやつ、味噌代	①1920円、3218円、1157円、 1015円、620円、1800円、 503円、1298円	11,531
	謝礼・報酬 ①チラシ作成謝礼 ②市民講師謝礼	①10000円 ②5000円×5回×1名	35,000
	対象とならない経費の合計(E)		47,420
合計額(F) = (D+E)			118,605

5 交付団体一覧

区分	団 体 名	代表者名	八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」リンク	
A 活動支援部門	デジタルお助け侍	京田 芳典	https://hachikomi.genki365.net/group 679/	
	つながるひろば	上島 浩子	https://hachikomi.genki365.net/group 696/	
	一般社団法人 みんなの居場所づくり隊縁楽結	小井戸 浩子	https://hachikomi.genki365.net/group 705/	
	はちおうじ会議実行委員会	田畑 敏子	https://hachikomi.genki365.net/group 683/	
	視覚障がいサポート団体 FANeyes	松村 有紀子	https://hachikomi.genki365.net/G0000522/	
	南大沢認定栄養ケア・ステーション	野田 章子	https://hachikomi.genki365.net/group 669/	
	みんなの学び流星群from八王子	佐藤 志穂	https://hachikomi.genki365.net/group 658/	
B 事業実施部門	kosodate802 (コソダテハチマルニ)	藤本 沙織	https://hachikomi.genki365.net/G0000509/	
	一般社団法人まもりすくん	大曲 千恵	https://hachikomi.genki365.net/group 527/	
	パラコレクション八王子実行委員会	定信 ふみ子	https://hachikomi.genki365.net/group 701/	
	特定非営利活動法人 かぶかぶ山のようちえん	小川 佳那恵	https://hachikomi.genki365.net/group 619/	

令和7年度(2025年度)交付 市民企画事業補助金 成果報告書



令和8年(2026年)7月発行

発行 八王子市
編集 市民活動推進部協働推進課

所在 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>
